

平成25年度熊本県青少年育成県民会議表彰

～地域に根ざした取組の中から～

熊本県立ひのくに高等支援学校

1 はじめに

本校は、平成13年4月に開校した県内では唯一の高等部だけの特別支援学校であり、軽度の知的障がいのある生徒を対象にした学校です。卒業後の職業自立や社会自立をめざした生徒達が学び専門学科での作業学習を中心に日々の授業に取り組んでいます。今年度、平成14年度より「地域花いっぱい&クリーン大作戦」として取り組んでいる活動に対して、熊本県青少年育成県民会議より表彰を受けました。



2 概要

この「地域花いっぱい&クリーン大作戦」は、平成14年から始まりました。この取り組みは、本校が位置している合志市の地域の方々に日頃から登下校や学習活動等でお世話になっていることに対して感謝の気持ちを伝えたいという思いから始まりました。

「地域花いっぱい」の取組は、年2回合志市の西合志庁舎や図書館、病院、郵便局など公共の施設に園芸科の生徒が育てた花のプランターを贈ったり、地域の道路やバス停などの清掃活動を継続して取り組んできました。今年は、11月27日(水)に19の施設に129個の花プランターを贈りました。また「クリーン大作戦」の取組としては、学校近隣を6つのコースに分けて通学路等にあたる道路の清掃活動を行いました。



この他にも、地域の方々と交流する取り組みとして春と秋の2回行っている「園芸科の花苗販売会」と、平成18年から始まった「九州ルーテル学院大学での花壇づくり」等があります。



今回、熊本県青少年育成県民会議より、これまで継続してきたことに対して表彰を受け、全校生徒・職員で喜び合いました。また、平成25年度熊本県公立学校善行児童生徒においてもこの「地域花いっぱい&クリーン大作戦」の取組が認められ表彰を受けることができました。

今後も全校生徒・職員で地域の方々へ常に「感謝」の気持ちを持って取り組んでいきたいと思えます。